

# 数 学

## 注 意

1. 問題は全部で3題あり、冊子は計算用の余白もあわせて8ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答は解答用紙の指定された欄に記入すること。指定の欄以外に記入されたものは採点の対象としない。
4. 問題2および問題3の解答については、論述なしで結果だけ記しても、正解とは見なさない。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはならない。
6. 解答用紙はすべて必ず提出すること。問題冊子は持ち帰ってよい。

マーク・シート記入上の注意については、この問題冊子の裏表紙に記載されているので試験開始までに確認すること。ただし、冊子を開いてはならない。

[計算用余白]

[計算用余白]

1 解答を解答用紙(その1)に記入せよ.

(1) 100人の生徒のなかで、数学の得意な生徒が62人、英語の得意な生徒が71人いる。数学と英語の両方が得意な生徒は、少なくとも  $\boxed{1}\boxed{2}$  人であり、最大で  $\boxed{3}\boxed{4}$  人である。

(2)  $x + y + z = 7$  を満たす1以上の整数の組  $(x, y, z)$  は、全部で  $\boxed{5}\boxed{6}$  通りある。それらのうち、 $x > y$  を満たすものは、全部で  $\boxed{7}$  通りある。

(3) 次の  $\boxed{8} \sim \boxed{11}$  に当てはまるものを、下の a, b, c, dのうちから選べ。

(ア)  $p, q$  を実数とする。  $p^2 - 4q \geq 0$  は、2次方程式  $x^2 + px + q = 0$  が異なる2つの実数解をもつための  $\boxed{8}$

(イ) さいころを2回投げるとき、1回目に6の目が出ることは、出た目の和が11であるための  $\boxed{9}$

(ウ)  $x, y$  を実数とする。  $x^2 + y^2 \leq 1$  は、  $x + y < 2$  であるための  $\boxed{10}$

(エ) 3つの自然数  $l, m, n$  の積が奇数であることは、  $l, m, n$  がすべて奇数であるための  $\boxed{11}$

- a 必要十分条件である。
- b 必要条件であり、十分条件でない。
- c 必要条件でなく、十分条件である。
- d 必要条件でなく、十分条件でない。

[計算用余白]

2 解答を解答用紙(その2)の 2 欄に記入せよ.

次の問に答えよ.

(1)  $\alpha$  を第2象限の角,  $\beta$  を第3象限の角とする.  $\sin \alpha = \frac{3}{4}$ ,  $\sin \beta = -\frac{5}{7}$   
のとき,  $\alpha + \beta$  は第何象限の角か.

(2) 756 の正の約数の個数を求めよ. また, それら正の約数すべての和を求めよ.

[計算用余白]

3 解答を解答用紙(その3)の 3 欄に記入せよ.

放物線  $y = x^2 + ax + b$  が, 2点  $(-1, 1)$ ,  $(1, 1)$  を結ぶ線分と, ただ  
1つの共有点を持つような点  $(a, b)$  の範囲を座標平面上に図示せよ.



[計算用余白]





マーク・シート記入上の注意

- 1 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークすること。
- 2 問題の文中の  $\boxed{1}$ ， $\boxed{2}$   $\boxed{3}$  などには、特に指示がないかぎり、符号（-），数字（0～9）又は文字（a～d）が入る。1，2，3，… の一つ一つは、これらのいずれか一つに対応する。それらを解答用紙の1，2，3，… で示された解答欄にマークして答えよ。

例  $\boxed{1}$   $\boxed{2}$   $\boxed{3}$  に -83 と答えたいとき

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

なお、同一の問題文中に  $\boxed{1}$ ， $\boxed{2}$   $\boxed{3}$  などが2度以上現れる場合、2度目以降は、 $\boxed{1}$ ， $\boxed{2}$   $\boxed{3}$  のように細字で表記する。

- 3 分数形で解答する場合、分数の符号は分子につけ、分母につけてはいけない。

例えば、 $\frac{\boxed{4} \boxed{5}}{\boxed{6}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と答えたいときは、 $\frac{-4}{5}$  として答えよ。

また、それ以上約分できない形で答えること。

例えば、 $\frac{3}{4}$  と答えるところを、 $\frac{6}{8}$  のように答えてはいけない。

- 4 根号あるいは対数を含む形で解答する場合は、根号の中や真数に現れる自然数が最小となる形で答えよ。

例えば、 $\boxed{7} \sqrt{\boxed{8}}$  に  $4\sqrt{2}$  と答えるところを、 $2\sqrt{8}$  のように答えてはいけない。また、 $\boxed{9} \log_2 \boxed{10}$  に  $6 \log_2 3$  と答えるところを、 $3 \log_2 9$  のように答えてはいけない。

- 5 分数形で根号を含む形で解答する場合、 $\frac{\boxed{11} + \boxed{12} \sqrt{\boxed{13}}}{\boxed{14}}$  に  $\frac{3+2\sqrt{2}}{2}$

と答えるところを、 $\frac{6+4\sqrt{2}}{4}$  や  $\frac{6+2\sqrt{8}}{4}$  のように答えてはいけない。